

## プレスリリース

本市職員（市安代漆工技術研究センター主任技師）

# 富士原文隆氏が、文化庁長官表彰を受賞

伝統産業と地域文化振興への長年の貢献が評価

### 【発表の要旨】

このたび、本市職員（主任技師）で、地域の伝統産業保護・振興に永年携わってきた富士原文隆氏が、令和6（2024）年度の文化庁長官表彰を受賞いたしました。

表彰式は令和6年12月17日、京都市内の京都ブライトンホテルで開催され、文化庁長官の都倉俊一氏をはじめ、全国各地の優れた文化活動に携わる個人・団体が一堂に会し、その功績を讃えられました。

### 事績の概要

富士原文隆氏は、永年にわたり日本産漆の生産・精製に従事するとともに、伝統的な漆芸技術の指導講師として後進の育成にも努め、我が国の文化財保護に多大な貢献をしてまいりました。

富士原氏は、地域に古くから伝わる伝統工芸「漆器」を学術的に調査・研究するとともに、漆器製作の高度な技術を、安代町漆器センター（1983年に設立。現・八幡平市安代漆工技術研究センター）において、次世代に伝える研修プログラムを提供。その運営に深く関わり、地域の後継者育成と伝統技術の継承に大きく寄与しました。

また、地元の漆と伝統的意匠を活用した漆器ブランド「安比塗」を確立。機能面の改良や現代的なデザインとの融合を進め、地域の産業活性化に貢献しています。

※漆の「生産」＝苗木の植樹。「精製」＝樹液から器に塗る用に加工すること



#### 富士原文隆経歴

- 昭和56年7月  
旧安代町に期限付臨時職員  
（漆器技術研修生）
- 昭和58年4月  
旧安代町技術吏員  
（漆器センター勤務）
- 平成12年4月  
旧漆器センター係長
- 平成17年9月（町村合併）
- 平成29年3月  
定年により退職
- 平成29年4月  
再任用 ～ 31年3月
- 現在は、任期付職員として  
安代漆工技術研究センター勤務

### 文化庁表彰受賞について

#### （1）概要

文化活動において優れた成果を示し、我が国の文化振興に貢献された方々、または日本文化の海外発信や国際文化交流に貢献された方々を対象に、その功績を称えるために文化庁長官表彰が行われています（今年度から、特に発信力の高い個人や団体を対象に「文化庁長官特別表彰」が新設されました）

#### （2）6年度の文化庁表彰者

97件（内訳 長官特別表彰13件、長官表彰84件）

#### 【担当】

安代漆工技術研究センター  
副所長 中軽米真人  
電話 0195-74-2111（内線1320）

